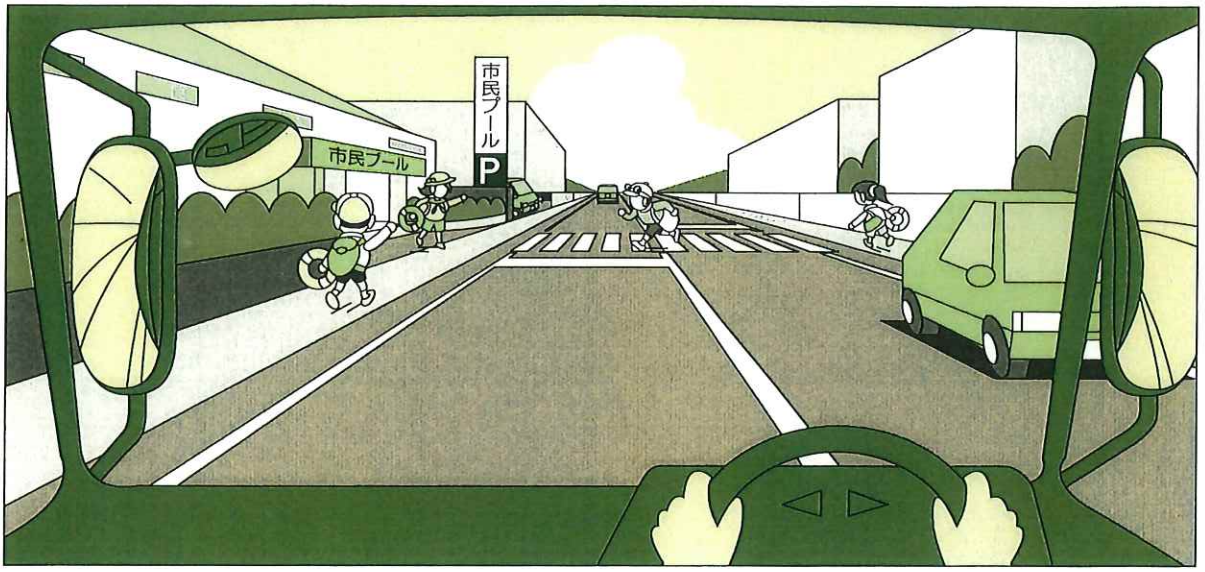
危険予知訓練（KYT）シート：交通事故防止編

あなたならどうしますか？

〔第 178 回〕「夏休みの市民プールの入口付近」

状況

あなたは夏休み期間中の市民プールのそばの道路を走行しています。自車の直近の対向車線には駐車車両がいます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

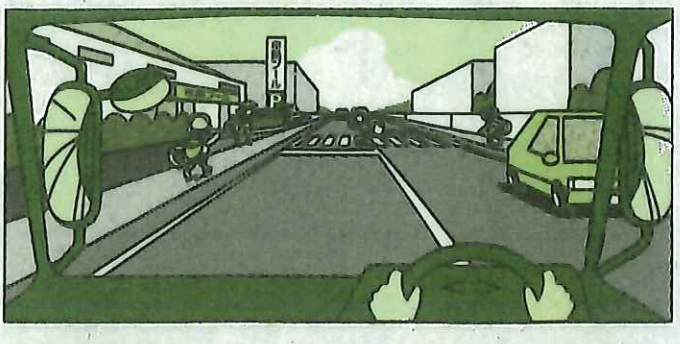
（解説・７面）

（2面）

危険予知訓練（KYT）シートの解説

▶交通事故防止編

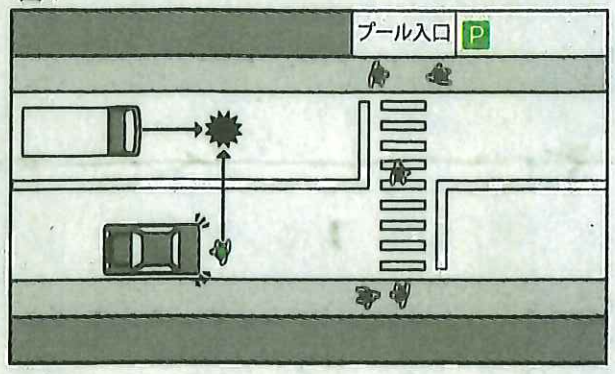
あなたは夏休み期間中の市民プールのそばの道路を走行しています。自車の直近の対向車線には駐車車両がいます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

①駐車車両の死角から出てきた歩行者と衝突する危険があります（図1）。
②市民プールの通過時、急に飛び出してきた歩行者と衝突する危険があります（図2）。
③駐車場から車道に出てきた車と衝突する危険があります（図3）。

図1



どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

①この場面では、前方の市民プールの方に注意が向きがちになりますが、自車の直近の対向車線には駐車している車が死角を作っています。前方のプールの方に注意が傾くと、駐車車両の死角から道路を横断してきた歩行者を見落とす危険があります。注意を向けるべきところに注意を向けることはもちろん、「その前後にも危険なものはないか」といった積極的な危険予測をしっかり行いましょう。
②市民プール入口の横断歩道のそばには、子ども達の姿が見えることから、市民プールを通過する際は一層慎重な運転をしなければなりません。子どもは興味をひくものを見つけた時には、車が接近していても道路に飛び出してくることがあるからです。子ども達の動静にしっかり注意を払いながら接近しましょう。また、横断歩道を渡ろうとしている人がいる時は、道路交通法に定められているとおり、横断歩道の手前で一時停止して、歩行者の通行を妨げないことを徹底してください。
③さらにプールの先には駐車場があり、子どもを送迎する車などが出てくることが予測できます。安易に通過しようとすると、駐車場から出てきた車と出会い頭に衝突する危険があります。駐車場からの出庫を確認した時は一時停止して譲りましょう。夏休み期間中に、市民プールやキャンプ場、公園など、子どもが多いことが予測できる場所では、その周辺にもしっかり注意を払って、慎重に運転しましょう。

図2

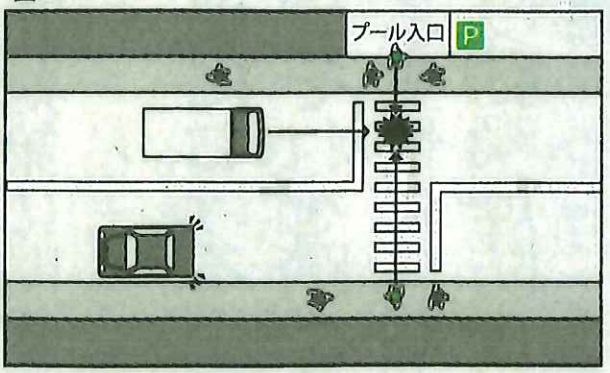
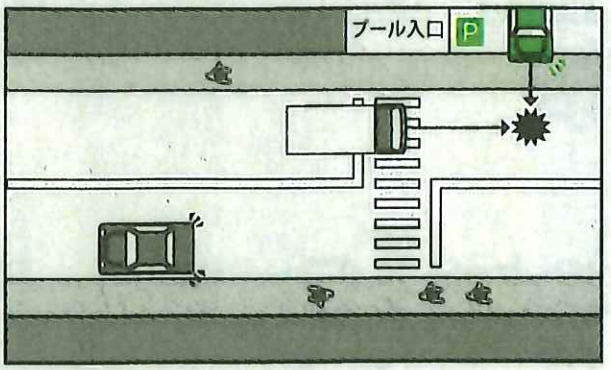



図3